

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわりぼんび		
○保護者評価実施期間	R 7 年 12 月 3 日		～ R 8 年 1 月 19 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	R 7 年 12 月 3 日		～ R 8 年 1 月 19 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R 8 年 1 月 23 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団であることからひとりひとり丁寧に関わり、その子に合った支援を提供。自立を促すことができる。1日を通して子どもをお預かりしているので、子どものことを把握し、必要な支援を提供することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的な雰囲気の中、愛着形成を図れるように手厚く職員を配置し、個に合わせた生活リズムに添って過ごしている。 ・保護者様に子どものご家庭での様子、体調などの聞き取り。 ・通所時の視診・触診。職員間の共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種の職員が集まっていることを生かし、それぞれの主観からその子に合った支援を検討する。いろいろな視点からアプローチすることができる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた空間だからこそ子どもにはわかりやすい環境設定。 ・1日を通して子どもをお預かりしているので、いろいろな経験・体験を提供する時間を確保することができる。 ・言語の習得。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが好きな遊びを見つけて遊びを自ら創り出すことのできる環境設定。 ・常に職員が目行き届く環境。 ・集団だと雑音になりがちな子どもの会話も、少人数で落ち着いた環境だからこそ耳に入りやすい。友達や職員がやりとりする中で言語の習得を目指している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種の職員の得意分野を生かし、幅広い活動の提供。様々な経験・体験を提供する。 ・外国人のご利用者様も増えている中、子どもや職員が多く話しかける中で日本語の習得に期待を持つことができる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と手つなぎで歩く経験、交通ルールを学ぶことができる。 ・社会性を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近郊に公園がある立地を生かし、職員と手つなぎで歩く経験をすることができる。初めは手つなぎで歩けなかった子どもも公園を目的地におくことで意欲的に歩けるようになる。また、交通ルールを学ぶことができる。 ・同世代だけではなく、異年齢児の関わりを経験することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な社会資源を活用し、積極的に活動に取り入れ、体験・遊びの場を提供する。安全面を一番に考慮し、更なる社会資源の提供を検討している。 ・職員の仲立ちすることによって、生活や遊びに必要な言葉やルールを学ぶことができる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが1人で落ち着きたい時、各年齢に合った遊びを提供する際のスペースの確保。 ・保護者参観等の行事を検討していきたいが、駐車場の確保ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の手狭さ。 ・駐車場の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適した立地条件への移転を検討。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人ご利用者様とのコミュニケーションの難しさ、ご利用時のルールの理解不足、文化の違い。 ・保護者様の悩みに寄り添って傾聴・アドバイスをすることはできるが、根本的な解決に繋がるケースは少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人ご利用者様の増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳は平仮名で入力しているが、文字だけでは伝わりにくいので子どもの様子の写真を送るようにしている。保護者様に大変喜ばれている。 ・翻訳アプリの活用も検討していく。 ・その都度ルールを知らせてご理解いただく。 ・他国の食事やおやつを提供するなどして異文化交流の機会を設ける。 ・保護者様の悩みに寄り添う。子どもの観察。関係機関との連携。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会議、事業所研修等開催の時間確保の難しさ。 ・職員間の共有。 ・活動準備等の時間の確保の難しさ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日を通してのサービス提供時間、雇用の違い。 ・多職種職員配置による知識・意識の違い。 ・人材不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・研修議事録の掲示。 ・個別支援計画に沿った支援の提供。 ・人材の確保。